

教材教具名	個別課題ボックス (ワークシステム)	分類	学習システム
		授業名	個別課題学習 (小学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 課題が終わるごとに「できました」と報告することができる。</li> <li>• 見通しを持って活動することができる。</li> </ul>		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- 1から順番に取り組む。報告をすることでもらえるはなまるカードを課題ケースに付ける。

<材料>

- (課題ケース、) 台紙、はなまるカード、マジックテープ

<工夫点>

- はなまる (もしくは児童の好きなイラスト) を使用することで課題へのモチベーションを高められるようにした。

<効果>

- 「〇〇先生」と呼びかけ、「できました」と報告することができるようになった。できた課題にはなまるカードをつけることで評価が分かりやすく、達成感を感じているようだった。

教材教員名	ワークシステム	分類	学習システム
		授業名	個別課題学習（小学部）
ねらい	・課題や見通しを分かりやすく提示する。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・本日の課題についてシートで確認する。
- ・ボックスの上から順に課題に取り組む。
- ・課題を終えたら、シート上で一つずつ「おしまい」カードを貼る。
- ・すべて「おしまい」カードが貼られたら課題終了。

<材料>

- ・ボックス…2段カラーボックス（¥1,200-くらい）、A4 かが×6（¥660-）、ブックスタンド×4（¥440-） 計¥2,300-くらい

<工夫点？>

- ・カラーボックスにも重いものと軽いものがあるので注意／角部分は安全に配慮。

<効果>

- ・壊れにくい

教材教具名	ワークシステム	分類	学習システム
		授業名	国語・数学（中学部）
ねらい	・自分で課題を取り出して取り組むことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・色のカードを頼りに、次に行う課題を取り出す。

<材料>

- ・課題の箱、折り紙、クリアファイル

<工夫点>

- ・指の力が弱い生徒なので、マジックテープで貼る形ではなく、クリアファイルに入れる形にした。
- ・数の概念の理解はないので、色の区別で行えるようにした。

<効果>

- ・色のカードを入れて、課題の箱を出すことができた。

教材教員名	スイッチレバー (ミシン用)	分類	学習システム
		授業名	家庭 (高等部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人でミシンを動かす事ができる。</li> <li>言葉かけを受けて「ON/OFF」ができる。</li> </ul>		

教材教具の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ミシン用のフットペダルを手で (机上で) 操作する。
- 手前に力がかかることで「ON」 / 手を離すことで「OFF」

<材料>

- フットペダル, 木材, 結束バンド, 両面テープ

<工夫点>

- 少しの力でもスイッチが入るように、ペダルよりもレバーの位置を長めに取りつけた。
- 握りやすくするため、上部は球場に、横は棒状に加工した。
- レバーが机上から落下しないようベニヤ板に固定し、その上にミシン本体を載せることで対応。

<効果>

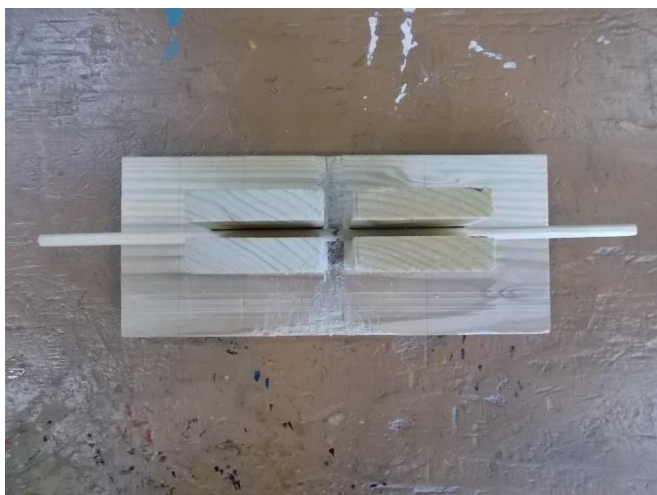
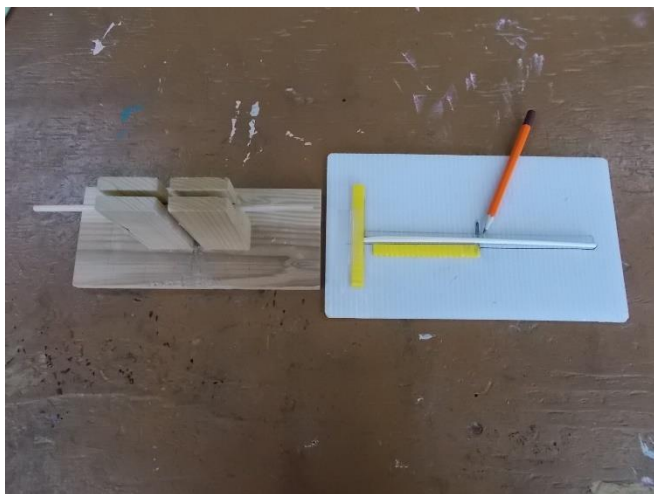
- 自分からレバーに手を伸ばす (興味・関心) 生徒が増えた。
- 「自分で動かしている」という感覚を経験することができた。

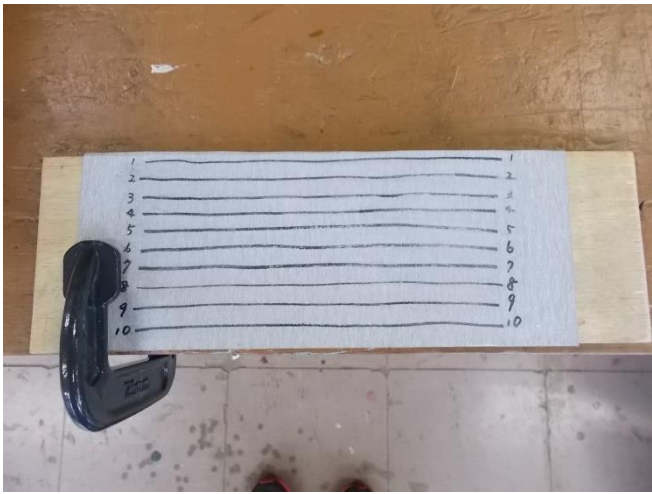
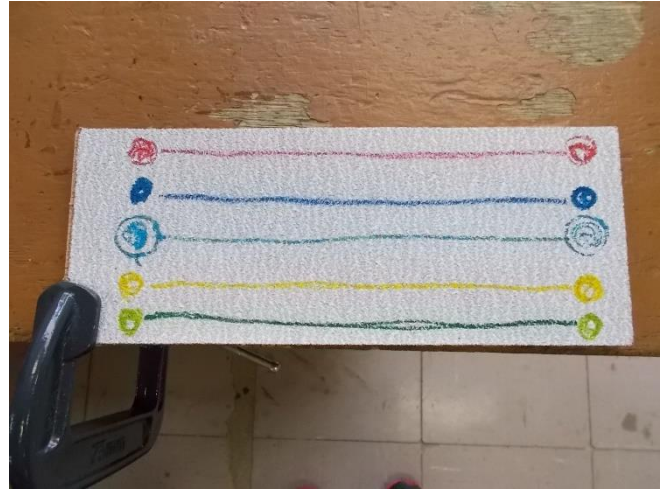
☆電化製品に対応するフットペダル (スイッチ) が既製品で販売されていることが分かった。  
レバーを同じように加工して取り付けすることで、ミシン以外の電化製品にも対応できる。(と思われる。)



教材教具名	のこぎり支援教材 やすりがけ支援教材	分類	学習システム
		授業名	作業（木工）（中学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• のこぎりやすやすりがけの作業で、活動に見通しを持たせる。また、一人で行える活動部分を増やす。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）





#### <使用方法>

- 左手の抑えが難しい生徒は万力で固定して取り組ませる。左から材料を取って作業して右の箱に入れているなど、行った後に決められた箱に入れる手順ですべての活動をする。

#### <材料>

- のこぎり…廃材、プラ板、段ボール箱
- やずりがけ…ベニア板、マジック

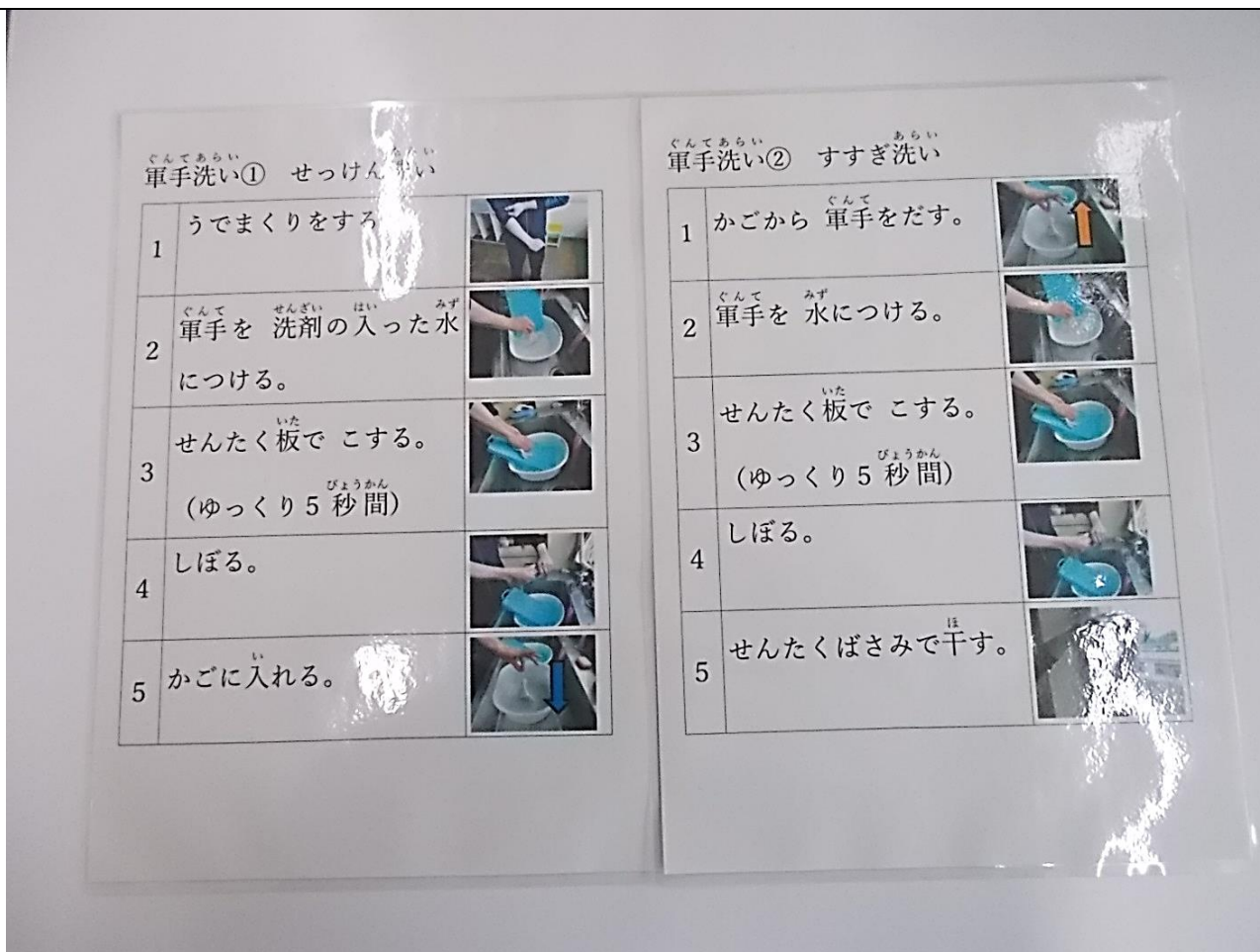
#### <工夫点>

- 生徒のめざす段階によって、一人で行える活動を作るため2～3通りの支援教具を準備した。
- 行った後に決められた箱に入れるという手順を統一して、どの活動も行うようにした。

#### <効果>

教材教員名	軍手洗い手順表	分類	学習システム
		授業名	農園芸作業（中学部）
ねらい	・軍手の洗い方がわかるようにする。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・軍手を洗う際の説明時に使用。また、洗っている最中に見える場所に置く。

<材料>

- ・紙、ラミネートフィルム

<工夫点>

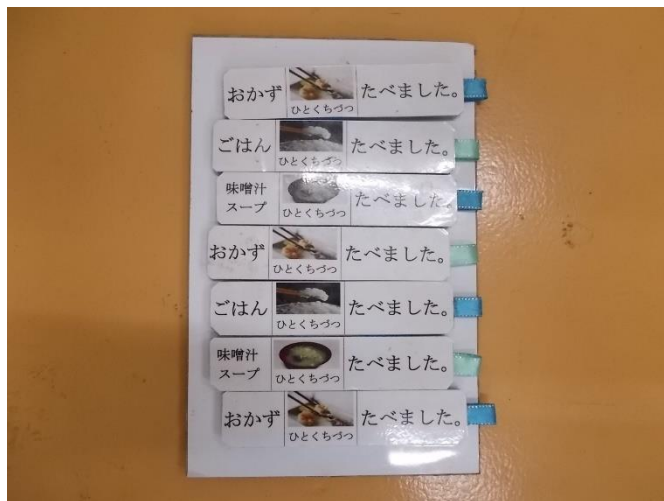
- ・農園芸作業は、急な天候の変化により、途中から室内での活動になる場合がある。そのため、残り時間の都合によっては「せっけん洗い」までしかできないこともあるため、あえて、2枚に分けている。

<効果>



教材教員名	着替え・歯磨きパズル	分類	学習システム
		授業名	日常生活
ねらい	・教員の言葉かけなしで着替えに取り組むことができる。		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・1～7まで順に着替えや歯磨きを行い、終わった順にカードを裏返していく。

<材料>

- ・カラーボード、ホワイトボード、児童の好きなキャラクター、マグネットシート、両面テープ、リボン

<工夫点>

- ・児童が意欲的に取り組めるように裏面のイラストは児童が好きなキャラクターを使用。
- ・めくりやすいように厚手のカラーボードやリボンを使用。

<効果>

- ・その都度言葉かけが必要だったが、教材を使用してからは言葉かけなしでも着替えられる時が増えた。
- ・途中で止まってしまった時も「めくってください。」と言葉かけするだけで再開できるようになった。



教材教具名	教室移動用写真カード	分類	学習システム
		授業名	教室移動時（小学部）
ねらい	・見通しを持って、ひとりで次の活動場所へ移動することができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・次に行く場所の写真カードを対象児童に手渡す。

<材料>

- ・写真、貼りパネル、面テープ

<工夫点>

- ・児童が持ちやすい大きさ、厚さにした。

<効果>

- ・言葉かけの指示では混乱することが多かった児童が、写真カードを媒体とすることで理解が容易になり自発的に動くことができるようになった。

教材教員名	予定表	分類	学習システム
		授業名	日常生活（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しを持って活動の流れにのる。</li> <li>・活動場所と活動内容を一致させ、活動に参加しやすくする。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・場所カードと内容カードを時系列に貼り、1日の予定を組む。
- ・活動が終わったら、場所カードと内容カードを生徒に外させ教員が回収する。

<材料>

- ・土台ファイル、場所写真、内容イラスト、マジックテープ

<工夫点>

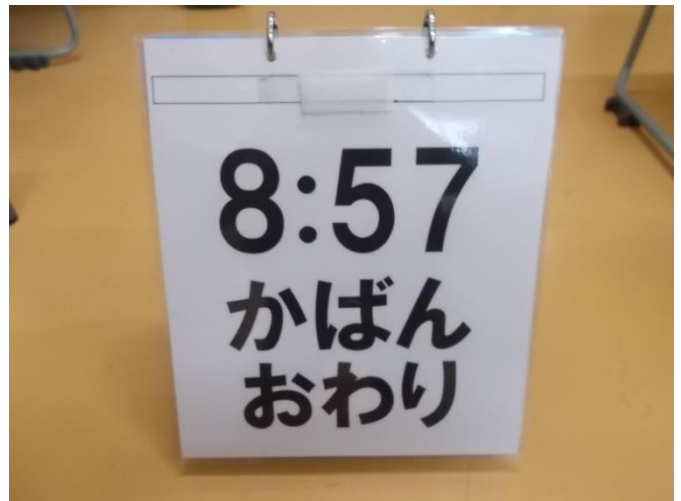
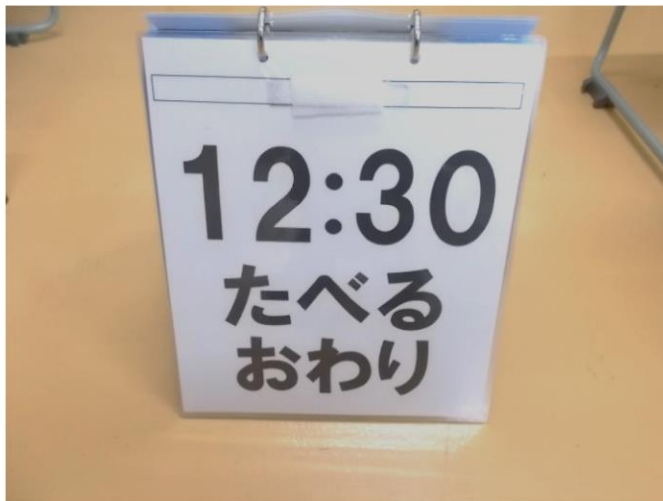
- ・見開き1ページで1日の流れを示せるようなサイズにし、簡潔に示せるようにした。
- ・終わったカードを剥がせるようにし、終わりと次の活動への移行を分かりやすく示した。  
マジックテープで取り外しができるため、生徒の登校に時間や調子に合わせて予定の調整を迅速に行える。
- ・毎日使用するため頑丈な素材で土台を作成した。

<効果>

- ・同じカードを継続して使用することで見通しを持つことができ、1日の活動に乗れるようになってきた。
- ・場所と内容を分けて提示したことで、見通しを持ちやすくなった。

教材教員名	スケジュールカード	分類	学習システム
		授業名	日常生活全般（高等部）
ねらい	・活動や時間の見通しをもつ。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・活動の際にカードを提示して、活動の終わりの時間を伝える。

<材料>

- ・ラミネートしたカード、ファイル

<工夫点>

- ・めくりタイプにすることで見やすい場所に置くことができる。

<効果>

- ・見通しが持てることで、行動がスムーズになる。